

水産部会活動報告書

1. 趣旨

水産部会では、漁村地域や水産都市の防災と産業の復旧・復興、食品の安全の確保を支援活動の柱としている。このうち、本報告は地域再生にかかせない漁業の復旧と水産加工業の復旧・復興に関する活動報告である。

2. 活動経過

8月5日 第2回水産復興・魚介藻類安全会議開催
・支援活動と体制の協議

9月16日～18日 気仙沼地域水産加工業等復興課題調査

9月25日～10月2日 広田湾と綾里湾の漁場調査、大船渡市水産加工業の復興課題調査

10月5日 第3回水産復興・魚介藻類安全会議開催
・現地調査結果の口頭報告(関根)
・漁村復興のあり方(坂井技術士)

3. 活動内容

1) 広田湾と綾里湾の漁場調査と漁業再開への情報提供

広田湾では、サイドスキャンソナーとROVを用いて海底に流出した瓦礫の分布調査を行い、漁業協同組合と陸前高田市水産課の担当者に対し、養殖漁場における瓦礫の分布状況並びに業養殖業への支障は少ないことを報告した。瓦礫による施設の付設に対する不安材料が解消され、漁業者の養殖業再開に安心を提供することができた。今後の問題としては浅所に沈んでいる瓦礫流出の危惧がある。これらは早めに撤去する必要があるであろう。現在詳細をまとめ中である。

綾里湾では、ワカメ養殖に再開に当たり、最もワカメ養殖の生産性の高い漁場での瓦礫の状況をサイドスキャンソナーで調査した。当該漁場における瓦礫はわずかで、養殖業の再開のためのブロックの敷設に瓦礫が支障になることはないことを報告した。詳細な資料を10月12日に送付した。漁協では10月中旬より、ワカメ養殖施設の漁場への敷設を実施する予定である。(関根)

2) 大船渡市水産加工業復興課題調査

大船渡市は岩手県屈指の水産加工業の盛んな地域である。本地域の経営者に面会するこ

とにより、現状で抱えている諸問題と課題について聞き取り調査を行った。このヒアリングにより、水産加工業の復興に向けた水産部会としての提言の検討を行う予定である。
(阿部)

3) 気仙沼市水産加工業等復興課題調査

気仙沼市は日本でも有数な水揚港であり、大船渡市とともに水産加工業の集積した水産都市である。本市の水産加工業の復興状況の把握と同時に沿岸漁業の課題について、現状での問題点の把握を行った。市全体の現状把握では、市長はじめ関係者の協力を得た。なお、ワカメを用いた新製品を水産部会食品安全・防災会議で試食品によって紹介した。(林)

4. 課題と今後のスケジュール

1) 漁場調査と食品の安全性の確保

広田湾や大船渡市・気仙沼市の沿岸部における漁場調査は、本調査で終了し、調査希望に応じて対応する予定である。広田湾の宮城県海面については時期的に間に合わないので調査を断念する。(気仙沼市南部や唐桑半島では調査は行われていないとのことである)

ワカメ養殖では来春に刈り取りが行われることになり、その時点での漁場環境については、水質等を踏まえて調査しておきたいと考えている。広田湾漁協では栄養塩等の調査は自前で実施しており、ワカメの生育に関する栄養塩等の調査は漁協の実情に応じて協力することになる。現時点では漁場の生産性に関する水質調査を水産部会で協力する必要性は感じていない。

ワカメほか沿岸の水産物の品質や食品の安全性に関する問題は、陸域から流出する有害物質等による漁場汚染の問題である。本件への協力としては、刈り取り時に検査協力等が考えられるが、海域への負荷量をあらかじめ試算しておく必要はあるであろう。春季までに東北大学の学識者との連携を深めて、対応策が必要かどうか検討する予定である。

2) 水産加工業調査

ワカメの加工では、沈下した漁港施設の整備が緊急の課題となっている。加工施設の整備の一つとして、漁港の接岸施設の復旧が望まれているところが今次調査で明らかとなっている。これらは県の担当部局でもすでに把握されていることと考えられるが、仮設的な岸壁（荷揚げ場兼か加工場の機能あり）の施工を設計基準との整合性をとりながら進める必要がある。また、検討成果をもって水産庁等への要望を行ってゆく必要があり、水産部会の水産土木技術者の協力を得て検討を深める予定である。

その他の規模の大きい水産加工業では、建築制限等による事業再開が足踏みしていることが報道されている。これだけではなく、保冷施設や加工施設、流通施設、上下水道施設の復旧、安定生産、旧取引先の協力確保など広範囲にわたる課題がある。これの問題が解決されていく工程を見極めながら、技術的諸課題、食品の安全性の確保の課題など生産者と消

費者の関係を回復させる取組を行ってゆく予定である。

3) 11月15日報告会

現地調査の成果とと、10月末までの会員からの調査報告・提言、水産復興・魚介藻類安全会議における委員の提言を整理したものを報告する(村上部会長；水産復興・魚介藻類安全会議長)